

授業改善書

| | |
|-----|-------------|
| 科目名 | 科目名 情報機器の操作 |
| 担当者 | 竹上 健 |

授業の概要

本科目では、1年次生を履修対象とし、実習を通してパーソナルコンピュータの基本操作を学習する。Windowsの基本操作、タイピング・日本語入力、フォルダ・ファイル管理、メールの送受信、インターネット利用の基本をはじめとして、特に、文書処理ソフトウェア（Microsoft Word）および表計算処理ソフトウェア（Microsoft Excel）の利用方法を学習することにより、情報処理の基盤となるソフトウェアに対する理解を深めながら、情報リテラシー技術の習得を目指す。

授業の問題点

◇学生による主な意見：

金曜1限クラス

- ・厳しいところは厳しく、優しいところは優しくといった授業でした。
- ・テキストと指導法が分かりやすかったです。
- ・授業中教えあう時間をくれたのでわからない部分がないままできて助かりました。

金曜2限クラス

- ・自主的な学習がじっくりできた。
- ・隣同士教えあうのはいいアイデアだと思います。
- ・できない人に合わせてくれるペースなのでやりやすかった。

授業改善の課題・方策

・厳しいところは厳しく、優しいところは優しくといった授業でした。

ワンパターン化せず、メリハリのある授業となるような授業運営を心がけています。今後とも継続していきたいと思います。

・テキストと指導法が分かりやすかったです。

今後ともこのような高評価が得られるよう心がけたいと思います。

・授業中教えあう時間をくれたのでわからない部分がないままできて助かりました。

同じ学生から習うことで、わからないところを理解することができます。知っているところを知らない学生に教えることで、より知識が高まります。教えたり習ったりすることで学生間のコミュニケーションも高まります。それまで知らなかった学生同士が親しい友人となる可能性も広がります。今後とも続けていきたいと思っています。

・自主的な学習がじっくりできた。

これは何よりもコメントしてくれた学生本人の学習に向かう心構えがあったからだと思います。今後とも、その意気込みと努力を続けてください。

・隣同士教えあうのはいいアイデアだと思います。

1限の同様の指摘に回答したとおりです。今後とも続けていきたいと思っています。

・できない人に合わせてくれるペースなのでやりやすかった。

1年次生対象の必修授業であることや、情報処理の知識・技術は大学生として、また社会人となった後も必要不可欠のものですから、確実に身につけてもらえるよう心がけています。今後とも続けていきたいと思ひます。

その他